この教材の著作権はＴＡＣ株式会社または権利者に帰属しています。
当社が特に認めた場合または著作権法上の例外を除き、当社に無断で複製、転載等をおこなうことは禁じられています。

TAC公務員講座

2024年合格目標　秋試験経験者区分本科生

オリエンテーション

～学習の進め方～

担当:鈴木康介

１．社会人枠試験（事務・行政系）の状況

（１）主な試験種の１次試験日程

令和５年度	
６月　１８日（日）	福岡市（社会人経験者）
８月　１３日（日）	東京都（キャリア活用）
９月　３日（日）	特別区（経験者・１級職／２級職(主任)）
２４日（日）	千葉市（民間企業等職務経験者） 埼玉県（経験者） さいたま市（民間企業等経験者） 横浜市（社会人） 名古屋市（職務経験者）
10月　１５日（日）	川崎市（民間企業等職務経験者）
11月　２６日（日）	京都市（民間企業等職務経験者）
未定	国家公務員（経験者採用(係長級)）

令和４年度	
６月　１９日（日）	福岡市（社会人経験者）
８月　１４日（日）	東京都（キャリア活用）
９月　４日（日）	特別区（経験者・１級職／２級職(主任)）
２５日（日）	千葉市（民間企業等職務経験者） 埼玉県（経験者） さいたま市（民間企業等経験者） 横浜市（社会人） 名古屋市（職務経験者）
10月　２日（日）	国家公務員（経験者採用(係長級)）
１６日（日）	川崎市（民間企業等職務経験者）
11月　２７日（日）	京都市（民間企業等職務経験者）

※上記は、令和５年５月25日時点での判明分です。
※国家公務員の経験者採用の詳細は、７月頃に公表の予定です。

・公務員試験は、**試験日さえ重ならなければ、異なる試験種をいくつでも併願受験できます。**
※ただし、各試験種の受験要件（職務経験年数、年齢等）を、それぞれ充たす必要あり。

・公務員試験の日程や試験内容は、**年度により変更となる場合があります。**

・社会人枠試験については、官公庁・自治体ごとに毎年必ず実施されるとは限らず、
採用が行われない年度もあり得ます。十分ご注意下さい。

この教材の著作権はＴＡＣ株式会社または権利者に帰属しています。
当社が特に認めた場合または著作権法上の例外を除き、当社に無断で複製、転載等をおこなうことは禁じられています。

（２）試験の実施結果

令和４年度		採用予定	１次試験 受験	１次試験 合格者	最終合格者	倍率 １次	倍率 2次以降	倍率 最終
東京都	（事務／資金運用）	1	7	5	1	1.4	4.0	7.0
	（事務／財務）	5	48	17	7	2.8	2.4	6.9
	（事務／不動産）	4	12	5	1	2.4	5.0	12.0
	（ICT）	20	103	72	32	1.4	2.3	3.2
特別区	（事務１級職）	143	1,287	436	215	3.0	2.0	6.0
	（事務２級職・主任）	63	695	220	88	3.2	2.5	7.9
埼玉県		5	81	16	6	5.1	2.7	13.5
さいたま市		5	256	24	6	10.7	4.0	42.7
千葉市		8	235	36	11	6.5	3.3	21.4
横浜市		35	629	251	50	2.5	5.0	12.6
川崎市		10	362	41	23	8.8	1.8	15.7
名古屋市		20	276	176	26	1.6	6.8	10.6
京都市		25	357	120	35	3.0	3.4	10.2
福岡市		※20	341	29	14	11.8	2.1	24.4
国家公務員（経験者・係長級）		26	277	91	53	3.0	1.7	5.2

※福岡市の採用予定人数は、行政一般・行政 ICT・行政福祉の合計人数です。

・１次（筆記）の倍率は３～１０倍程度と試験種によって多岐に渡り、２次以降（面接）の倍率は２～５倍程度に収まるところが多くなっている。

（３）各試験の実施形式

	東京都	特別区	埼玉県	さいたま市	千葉市	横浜市	川崎市	名古屋市	京都市	福岡市	国家 係長級
教養択一	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①
職務経験論文	①	①	①	①	②	①	①	①	①	①	①
課題論作文		①	②	―	―		―	―	―		―
個別面接	②、③	②	②、③	②	②	②、③	①、②	②、③	②、③	①、②	②
ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ	②	―	―	―	―	―	―	③	―	―	―
集団討論	―	―	―	②	①	―	―	―	―	―	②

「丸数字」＝実施あり（実施段階）、「ー」＝実施なし

・「教養択一」、「職務経験論文」、「個別面接」はいずれの試験でも実施されるため、必ず準備が必要です。

・とくに、**「教養択一」**については、出題範囲が 15 科目前後と広いうえに、主要科目である数的処理をマスターするためにはかなりの時間が必要になるため、**真っ先に準備に取り組むべきでしょう。**

この教材の著作権はＴＡＣ株式会社または権利者に帰属しています。
当社が特に認めた場合または著作権法上の例外を除き、当社に無断で複製、転載等をおこなうことは禁じられています。

２．教養択一試験の学習方法

（１）教養択一試験の出題科目

教養択一（基礎能力）試験

試験種	一般知能分野						一般知識分野															合計出題数（問）	合計解答数（問）	解答時間（分）
	数的処理				文章理解		人文科学					自然科学					社会科学				時事			
	数的推理	判断推理	空間把握	資料解釈	現代文	英文	世界史	日本史	地理	思想・文芸	国語	数学	物理	化学	生物	地学	法律	政治	経済	社会				
東京都（キャリア活用）	**4**	**4**	**4**	**4**	**4**	**4**	—	**1**	—	**1**	—	—	**1**	**1**	**1**	**1**	—	—	**1**	**1**	**8**	40	40	120
特別区（1級職）	**4**	**4**	**4**	**4**	**4**	**4**	1	1	1	1	1	—	2	1	1	1	1	1	2	1	**6**	45	35	105
特別区（2級職・主任）	**4**	**4**	**4**	**4**	**6**	**4**	1	1	1	—	1	—	1	1	1	1	1	1	1	1	**6**	44	35	105
埼玉県（経験者職員）	**5**	**4**	**3**	**1**	**3**	**5**	**1**	**1**	**2**	—	—	**1**	**1**	**1**	**1**	**1**	**2**	**2**	**2**	—	**4**	40	40	120
さいたま市（民間企業等経験者）	**5**	**4**	**3**	—	**4**	**3**	**1**	**1**	**2**	—	—	—	**1**	**2**	**2**	**1**	**2**	**2**	**2**	—	**5**	40	40	120
横浜市（社会人）	**6**	**3**	**2**	**1**	**3**	**5**	**2**	**1**	**2**	—	—	—	—	**1**	**1**	**1**	**2**	**3**	**2**	—	**5**	40	40	120
川崎市（職務経験者）	**4**	**4**	**4**	**2**	**3**	**3**	**2**	**2**	**1**	—	—	—	**2**	**1**	**2**	**1**	**2**	—	**2**	—	**5**	40	40	120
国家公務員（係長級）	**16**				**3**	**5**	**1**				—	**1**					—	—	—	—	**4**	30	30	140

※**ゴシックの数字**は必須解答です。　※上記は過去の試験情報を元に作成しています。実際の出題内容とは異なる場合があります（TAC 調べ）。

公務員試験の準備の中でも、圧倒的に時間と手間がかかるのが、択一試験対策です。

15 科目前後が出題される状況において、思い付くまま手当たり次第に学習しても、無駄に時間が過ぎるばかりでなかなか確実な得点力は養成されません。

そこで、

↓

まずは**合格に必要な得点**を正しく把握し、次に**これをクリアするための学習プラン**を策定する。

↓

あとは、自分をコントロールしながら**粘り強く学習を継続**していく。

つまり、『効率の良い最短距離の学習方法を見定めた上で、コツコツと学習に取り組む』のが秘訣です。

この教材の著作権はＴＡＣ株式会社または権利者に帰属しています。
当社が特に認めた場合または著作権法上の例外を除き、当社に無断で複製、転載等をおこなうことは禁じられています。

（２）合格に必要な得点

社会人枠試験の択一のボーダーラインは、どの試験種でも**概ね６割前後**の得点だと言われています。

↓

そこで、どの演習や模試を受けても**常に６５％以上得点できる状態**を、最終目標としましょう。

↓

ここで忘れてはならないポイントは、

公務員試験の択一試験は、決して満点を取らなければいけない試験ではありません。

いずれの科目についても、
「広く（全分野について）・浅く（基本事項のみを）・正確に（細部まで正しく）」把握できれば、
合格点に達します。

（３）科目の優先度

「どの科目も同じように力を入れて学習する」というスタイルでは、本試験までに確実な合格得点力を身に着けることは困難です。範囲が膨大過ぎて、時間的に到底間に合わないからです。

そこで、各科目の優先度を見極めて、**重要科目から先に、かつ重点的に**学習するのが効率的です。

◎教養科目の一般的な優先度

最重要	数的処理⑯	＋	（学び直し・算数,数学④）（入門講義・数的処理⑥）
重　要	文章理解③	＞	時事対策⑤
その他	一般知識分野	人文科学⑰	＋（傾向分析講義①）
		自然科学⑮	＋（傾向分析講義①）
		社会科学⑮	＋（傾向分析講義①）

※囲いがある科目は、TAC が基本講義として位置付けているものです（丸数字は講義回数）。

この教材の著作権はＴＡＣ株式会社または権利者に帰属しています。
当社が特に認めた場合または著作権法上の例外を除き、当社に無断で複製、転載等をおこなうことは禁じられています。

◎各科目の特徴

数的処理 **目標得点：６割**

数学と算数がミックスしたような“数学パズル”。４分野ともに独特な内容で、文系の受験者の大半が苦手科目としている。理論や解法パターンを習得した上で、これを使いこなせるようにひたすら演習を積むことが不可欠。

毎回の講義の復習以外にも**できるだけ毎日時間を作って**、コツコツと問題を解いていく継続的な学習を行いたい。

※数的処理の講義を受講する前にＶテキストを簡単に確認して内容が難しいと感じた場合
⇒「学び直し・算数,数学」や「入門講義・数的処理」を必要に応じて受講して下さい。

文章理解：**目標得点：７～８割**

現代文と英文の長文読解問題。現代文は正確性とともにスピードが重要となるため、**３～４日に１度程度**は問題演習をしたい。英文が苦手な場合は、大学受験用の**英単語帳**を常に携行して単語数を増やすことに専念すると良い。

時　　事：**目標得点：できる限り多く**

多くの試験種で比較的まとまった問題数が出題される“隠れ重要科目”。
TAC の時事カリキュラムの学習のほかに、**毎日新聞を読む習慣を作って**主要な記事の大見出しと小見出しには万遍なく目を通すようにしたい。

人文科学：**目標得点：５割以上**

全科目・全範囲を学習するのが理想だが、分量が多いためある程度的を絞った学習を行う必要も出てくる。過去の学習経験や志望試験種に応じて戦略を立てるべき。※考え方は後述

自然科学：**目標得点：５割以上**

理系科目が苦手な場合は苦戦するが、どの科目も基礎的な知識を問う出題が多いため、科目を丸ごと捨ててしまうべきではない。頻出分野を中心に、できそうな箇所から潰したい。

社会科学：**目標得点：６割以上**

一般知識分野の中においては、比較的マスターするのに労力を要する科目。社会科学が多く出題される試験種の志望度が高い場合は、ここでの出来が合格のカギを握る。ある程度しっかり時間をかけて、できるだけ丁寧に講義の受講→復習をこなしたい。

この教材の著作権はＴＡＣ株式会社または権利者に帰属しています。
当社が特に認めた場合または著作権法上の例外を除き、当社に無断で複製、転載等をおこなうことは禁じられています。

（４）学習計画の立案

公務員の択一試験の学習プランは、以下の２つの柱を意識しながら、順次進める必要があります。

1 講義の受講～最初のインプット・アウトプット

2 学習した知識の定着作業

1 講義の受講

択一の学習の手始めは、どの科目についても、

学習する回の**講義を受講**して、内容をある程度理解する。

↓

すぐに、

問題集のその回の分の問題を解く。

という形で行って下さい。

◎各科目の講義の受講時期

TAC に入学した時期や各自の持ち時間などによって考え方が大きく変わりますが、次頁以降の目安を参考にご自身に合った受講スケジュールを立ててみて下さい。

・次頁以降の受講時期の記載は、「2024 年 9 月に 1 次試験が行われる試験種」に対応したものです。

・問題集に正答率ではなく難易度の記載がある場合は、難易度 A＝正答率 60%以上、難易度 B＝正答率 30%以上と考えて下さい。

この教材の著作権はＴＡＣ株式会社または権利者に帰属しています。
当社が特に認めた場合または著作権法上の例外を除き、当社に無断で複製、転載等をおこなうことは禁じられています。

◇ 2024 年 2 月以前に入学された方　※または、学習時間を多く確保できる方

数的処理：**入学後すぐに開始**して、少なくとも**週に１コマ**受講（毎回の受講・復習を丁寧に行う）
↓
遅くとも、**受験年の５月まで**に受講を終了させる → その後は継続的に問題演習を行う

文章理解：**入学後すぐに開始**して、**できるだけ早く**受講を終了させる（講義は３回のみ）
↓
その後は継続的に問題演習を行う

時　　事：**１次試験の２カ月前（直前期）から**、集中的に受講 → 直前までしっかり暗記する

人文科学：A. 出題数が多い試験種が第 1 志望の場合
↓
できるだけ早期に開始して、**週に１コマ**受講 → 問題集の**正答率 30%以上**の問題を解く

B. 出題数が少なめの試験種が第 1 志望の場合
↓
数的処理の前半の受講終了後に、**傾向分析講義**を受講 → 学習範囲を絞った上で必要な講義を受講 → 問題集の**正答率 60%以上**の問題（学習範囲内の問題のみ）を解く

自然科学：A. 苦手ではない科目
↓
できるだけ早期に開始して、**週に１コマ**受講 → 問題集の**正答率 30%以上**の問題を解く

B. 苦手意識の強い科目
↓
数的処理の前半の受講終了後に、**傾向分析講義**を受講 → 学習範囲を絞った上で必要な講義を受講 → 問題集の**正答率 60%以上**の問題（学習範囲内の問題のみ）を解く

社会科学：A. 出題数が多い試験種が第 1 志望の場合
↓
できるだけ早期に開始して、**週に１コマ**受講 → 問題集の**正答率 30%以上**の問題を解く

B. 出題数が少なめの試験種が第 1 志望の場合
↓
直前期に、**傾向分析講義**を受講 → 学習範囲を絞った上で必要な講義を受講 → 問題集の**正答率 60%以上**のうち無理なく対応できる問題（学習範囲内の問題のみ）を解く

この教材の著作権はＴＡＣ株式会社または権利者に帰属しています。
当社が特に認めた場合または著作権法上の例外を除き、当社に無断で複製、転載等をおこなうことは禁じられています。

◇ 2024 年 3 月以降に入学された方　※または、学習時間があまり確保できない方

数的処理：**入学後すぐに開始**して、必ず**週に 2 コマ以上**受講（毎回の受講・復習を丁寧に行う）
↓
できる限り、**受験年の６月末まで**に受講を終了させる → その後は継続的に問題演習を行う

文章理解：**入学後すぐに開始**して、**できるだけ早く**受講を終了させる（講義は３回のみ）
↓
その後は継続的に問題演習を行う

時　　事：**１次試験の２カ月前頃（直前期）から**、集中的に受講 → 直前までしっかり暗記する

人文科学：A. 出題数が多い試験種が第 1 志望の場合
↓
数的処理の前半の受講終了後に、**傾向分析講義**を受講 → 学習範囲を絞った上で必要な講義を受講 → 問題集の**正答率 30%以上**のうち無理なく対応できる問題を解く

B. 出題数が少なめの試験種が第 1 志望の場合
↓
数的処理の前半の受講終了後に、**傾向分析講義**を受講 → 学習範囲を絞った上で必要な講義を受講 → 問題集の**正答率 60%以上**の問題（学習範囲内の問題のみ）を解く

※これも難しい場合：問題集の過去問出題一覧表から頻出の分野を絞る→講義は受けずにその箇所のテキストだけを読む→該当範囲の正答率 60%以上の問題を解く

自然科学：A. 苦手ではない科目
↓
数的処理の前半の受講終了後に、**傾向分析講義**を受講 → できるだけ広い学習範囲を設定した上で必要な講義を受講 → 問題集の**正答率 60%以上**の問題（学習範囲内のみ）を解く

B. 苦手意識の強い科目
↓
直前期に、問題集の過去問出題一覧表から頻出の分野を絞り、講義は受けずにテキストのその箇所を読んだら、すぐに該当範囲の**正答率 60%以上**の問題（学習範囲内のみ）を解く

社会科学：A. 出題数が多い試験種が第 1 志望の場合
↓
できるだけ早期に開始して、**週に 2 コマ**受講 → 問題集の**正答率 30%以上**の問題を解く

B. 出題数が少なめの試験種が第 1 志望の場合
↓
直前期に、**傾向分析講義**を受講 → 学習範囲を絞った上で必要な講義を受講
→ 問題集の**正答率 60%以上**の問題（学習範囲内のみ）を解く

この教材の著作権はＴＡＣ株式会社または権利者に帰属しています。
当社が特に認めた場合または著作権法上の例外を除き、当社に無断で複製、転載等をおこなうことは禁じられています。

◎講義回数順の受講

各科目の講義の内容は、必要な知識を効率よく理解・吸収できるような順序でカリキュラムが組まれています。また、ほとんどの科目では「前回までの講義内容を踏まえた上で、新しい内容を学習する」という形になっていますので、各科目とも**講義の回数順に**受講することを基本として下さい。

◎講義の復習方法 （数的処理等のしっかり学習する科目）

毎回の講義を受講した後に行うべき「講義の復習方法」は、以下の通りです。

STEP❶ ：講義を視聴 ⇒ 集中して聴く ⇒ **テキスト**にメモを書き込む。

STEP❷ ：❶から２日以内に、**テキスト**を読み込む。

STEP❸ ：❷の直後に、**問題集**のその回に該当する範囲の問題を解く。
（まずは正答率 60%以上（難易度 A）の問題のみで可）

STEP❹ ：間違えた問題の原因を、**問題集の解答・解説**、**テキスト**を使って解明する。
⇒ この作業で新たに得た知識を、**テキスト**の該当箇所に書き込む。

※上記はあくまでも復習方法のモデルです。各科目の担当講師が別の方法を指示した場合は、そちらに従って下さい。

◎演習の受講

数的処理、文章理解、一般知識の各分野、論文には、それぞれ講義の受講後に「演習」が設定されていて、問題演習によって学習の仕上がり具合を確認することができます。
また、講義の受講が全般的に終了した後は、「数的処理の総合演習」や「実力確認テスト」を受けることで本番に向けた総仕上げができます。

この各種の演習ですが、科目の講義はしっかり受けるものの、まだ学習が完成していないという理由で後回しにする受講生の方が、例年多く見受けられます。確かに、演習は各科目の現時点での仕上がり具合を確認する目的もありますが、演習終了後に行われる解説講義では、講師が通常の講義でフォローしきれなかった新たな知識を説明する場合も多々ありますので、**「演習」についてもできるだけスケジュール通りに受講するよう心掛けて下さい。**

この教材の著作権はＴＡＣ株式会社または権利者に帰属しています。
当社が特に認めた場合または著作権法上の例外を除き、当社に無断で複製、転載等をおこなうことは禁じられています。

◎一般知識分野（人文科学・自然科学）の効率的な学習方法

・どの試験種においても、出題数が比較的少ない
・学習内容のほぼすべてが丸暗記

↓

よって、**直前期に一気に詰め込む形**でも対応可能。　※もちろん、長期計画でじっくり学習するのが理想だが…

ただし、この場合は、

科目数が多く範囲も広いため、**全科目・全分野を学習するのは非効率。**

↓

そこで

「科目は切らずに、分野を切る。」

・苦手な科目でも丸ごと捨ててしまわず、すべての科目を学習する。
・各科目とも全範囲を学習するのではなく、**範囲を絞った必要最小限の学習**にとどめる。
（いい意味で、“美味しいところのつまみ食い”）

↓

★学習範囲の絞り方

① 過去問の**頻出分野**に限定して学習する。
② 自分の**取り組みやすそうな（得意な）分野**にだけ手を付ける。

↓

まずは、**「傾向分析講義」**や**「各問題集の巻頭の過去問出題一覧表」**を参考に頻出分野を絞り、科目ごとに無理なく効率的に取り組める学習範囲を選定する。

↓

学習範囲が決まったら、以下を参考に**最小限の時間で手当てできる方法**を選んで学習する。

★効率的な学習方法（科目の相性や持ち時間に応じて、以下を適宜組み合わせる）

・選択した範囲の**講義を Web で視聴**しながら、内容を暗記してしまう。
・選択した範囲の**テキスト**を読み込んで、内容を暗記してしまう。
・選択した範囲の**問題集の問題**をいきなり解き、解答・解説を読んで暗記してしまう。

この教材の著作権はＴＡＣ株式会社または権利者に帰属しています。
当社が特に認めた場合または著作権法上の例外を除き、当社に無断で複製、転載等をおこなうことは禁じられています。

2 学習済の知識の定着

講義受講後に問題集を一周解いただけでは、過去問を常時 65%以上解ける力を養うことはなかなか難しいでしょう。インプットした内容を定着させ安定したアウトプットを可能とするためには、定期的に問題演習を繰り返していく必要があります。これを本試験直前まで反復継続する学習こそ、公務員試験におけるメインの準備だと言えます。

そして、こうした継続的な学習は、ただ思い付くままに手を付けても効率が悪くなるばかりで思うような効果は生じません。自分の状況に応じた**客観的な視点**から**具体的な計画**を立てた上で取り組むことが、必須となってきます。

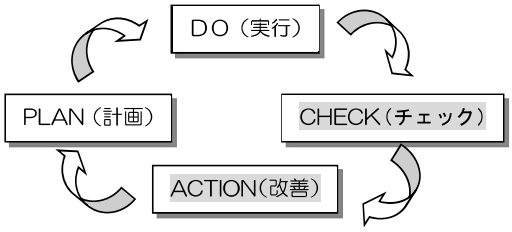
◎計画策定の際のポイント

- 各科目の「優先順位」や「目標とする得点」は？
- 各科目の完成予定時期（学習期間）は？
- 各科目の学習範囲（全部 or 一部）は？
- 各科目の学習方法（講義受講 or レジュメのみ…etc.）は？
- 1 日あたりの学習時間は？
- 1 週間あたりの予備時間は？

☆学習計画立案の視点

学習を始める前から完璧な計画を立てることは、まずできません。学習は、現実にやってみないことにはその実情がなかなか分からないものだからです。

そこで、まずは分からないなりに学習計画を立てて実行に移し、改善が必要だと感じた時点で新たな修正計画を立て直してこれに移行する、という方法が有効となります。

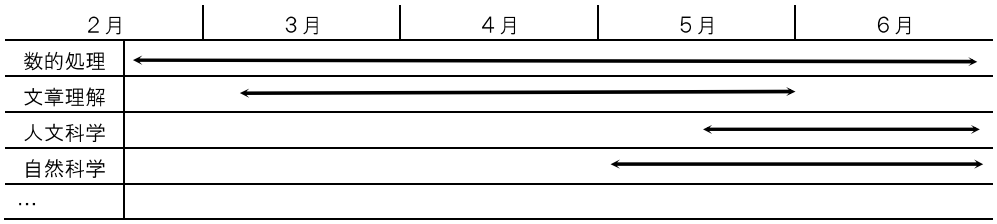


学習の成果は、「当初の計画内容」ではなく、「途中の計画改善」の出来次第で決まってくると言えます。

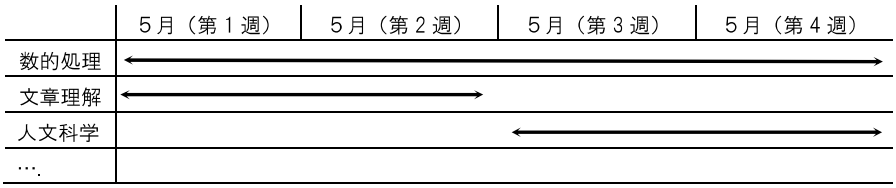
この教材の著作権はＴＡＣ株式会社または権利者に帰属しています。
当社が特に認めた場合または著作権法上の例外を除き、当社に無断で複製、転載等をおこなうことは禁じられています。

参考 **年間計画 → 月間計画 → 週間計画**

①本試験までの全期間中、科目ごとに「いつ」までに「なに」をやるのかを大まかに決定する。



②全体像を把握するスケジュール（上記①の表）を月単位に分解し、単月の計画を作る。



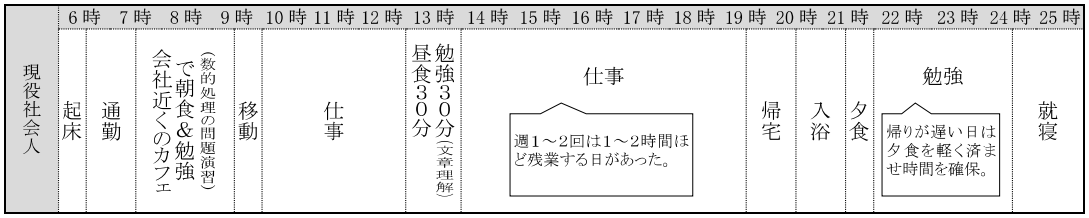
③月単位の計画（上記②の表）をさらに週単位の計画に分解し、週ごとのスケジュールを作る。

５月（第１週）					
月	火	水	木	金	土・日
数的処理（第３回受講→問題集Ｐ.○～Ｐ.○）					予備日
文章理解（問題集Ｐ.○～Ｐ.○）					
日本史……					

☆予備日・予備時間を設定する

後日修正できるような計画とするためには、スケジュールの中に「予備の時間」を設定しておく必要があります。気が急いて先に先にと進みたくなる気持ちも分かりますが、詰め込み過ぎずにゆとりを持たせた計画を作っておくことこそ、実は成功の秘訣となるのです。

参考 **ある社会人受講生の１日のスケジュール**



この教材の著作権はＴＡＣ株式会社または権利者に帰属しています。
当社が特に認めた場合または著作権法上の例外を除き、当社に無断で複製、転載等をおこなうことは禁じられています。

３．論文・面接の準備

公務員試験は、択一試験さえクリアすれば合格できる、いわゆる資格試験ではありません。当然のことながら、これもまた就職・採用試験なのです。ですから、ただ学習知識が試されるだけではなく、その受験先の職員として相応しい考え方や資質を持つ人物だと認められて初めて、合格・内定を手にすることができるのです。

そして、こうした人物評価の手段として実施されるのが論文試験であり面接試験です。よって、いくら択一で高得点を取ったとしても、論文や面接で評価が得られなければ最終合格はままなりません。合格の最後の決め手は、やはり論文や面接にあると言わざるを得ないのです。択一の準備がある程度形になり次第、速やかに論文・面接の準備にも着手していくべきでしょう。

◎論文試験

職務経験論文：自身がこれまでに経験した職務の内容や取組と、それらの公務への活用を述べるもの

・職務経験を自己分析した上で、どのような経験をいかにアピールするかを固める。
・論文試験の設問が求めている内容について、正確に回答できているかを意識する。

課 題 式 論 文：行政上の課題について、自己の考えを論述するもの ※特別な専門知識は不要

・既存の施策や批判を述べるのではなく、自分自身の問題意識に基づく論述を行う。
・民間での経験を踏まえた説明を行うことで、説得力を生み出す。

■準備は、**択一の学習がある程度軌道に乗ったら**すぐに始めたい。**※3カ月程度の準備期間を取るのが理想**

↓

① ・「大卒程度試験用 論文対策講義（３回）」＋「演習２回」
・「職務経験論文対策講義（１回）」

上記の２つの講義を受講して、論文の考え方や書き方のルールを学ぶ

※大卒程度試験の論文対策講義については、論文の経験が少ない方、遠ざかっている方に向けた基本の準備として受講をお勧めしています。必要がないと判断された場合は、職務経験論文対策講義だけの受講でも結構です。

↓

② 実際に答案を書く ⇒ 添削を受ける ⇒ 添削の指摘や解答例をチェックしつつ、書き直す

※上記②の準備をやればやる程、論文力は上達します。

この教材の著作権はＴＡＣ株式会社または権利者に帰属しています。
当社が特に認めた場合または著作権法上の例外を除き、当社に無断で複製、転載等をおこなうことは禁じられています。

◎口述（面接）試験

人となり、職務経験、公務に関する知識・マインド等を問われる面接試験

個別面接が基本となるが、集団討論やプレゼンテーションを併せて実施する試験種もある。

・「なぜ公務員に転じたいのか」、「どのような仕事がしたいのか」を、経験に即して具体的に説明できるよう準備する。

・社会人として培った信念やビジネスマインドを再確認する。

・現在の公務員の環境が、安定・堅実から改革・変化に大きく変貌している事実と向き合う。

■準備は、**1 次試験直前の 8 月初旬**までには必ず始めたい。

↓

①**「職務経験者面接対策講義（1 回）」**を受講して、面接の基本事項や準備の方法を学ぶ

↓

② 自己分析（志望動機・自己 PR）＋ 政策研究（受験先の現状・展望）⇒ 面接カードを作成

↓

③ **模擬面接**を受けて、雰囲気に慣れる ＋ 回答の内容をブラッシュアップしていく

※経験者試験専用の模擬面接は、2 次試験がスタートする前の 2024 年 10 月頃から開始する予定です。
それまでの間は、「経験者区分本科生専用相談コーナー」において面接のご相談をお受けします。